

2026年3月期

第3四半期決算説明資料



JTP 株式会社

Connect to the Future

2026年2月12日



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

I. 事業概要



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.



JTP 株式会社

所在地

東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー14F

設立

1987年10月31日

社員数

462名（2025年3月31日時点）

事業内容

ICTシステム設計・構築・運用 / AIサービス開発
医療機器の輸入販売・保守

拠点

東京 / 栃木 / 大阪 / 福岡 / インド・デリー

上場市場

東証 スタンダード

事業領域

Outsourcing Business

ICTシステムの設計・構築・運用・保守等
アウトソーシング事業

Solution Business

ソーシング事業で培った
知見を自社ソリューションに転換



アウトソーシング事業



ICT教育

オンライン配信
e-ラーニング
集合研修



テクニカルサポート

マルチリンガル
L1-L2 サポート
24x365



システム構築

マルチクラウド
仮想化/セキュリティ
コンテナ/k8s



システム運用

オフサイト運用
オンサイト運用
ITIL準拠



医療システム

医療機器製造業/販売業
医療機器修理業
システム導入・運用支援



化学分析システム

GC/LC装置 ※
適格性確認(IQ/OQ/PQ)
LMIS※ 導入・運用支援

※GC:ガスクロマトグラフィー
LC:液体クロマトグラフィー
LIMS:ラボラトリー情報管理システム

事業概要



ソリューション事業



Kyrios

クラウドトータル
ソリューション



生成AI
ソリューション



グローバル
ITスキルアセスメント



Learning Booster

ITスキルマネジメント
プラットフォーム



RedLens

予防型セキュリティ
ソリューション



daimon
AI-Driven Development Solution

AI駆動開発
ソリューション



ハイブリッド運用
サービス



薬機法対応
ワンストップサービス



グローバルIT人材
紹介サービス

事業概要



➡➡ 4つのセグメントで事業を運営

デジタルイノベーション

■ 人財育成コンサルティング

- 人財育成事業
- ITラーニングプラットフォーム (Learning Booster)

■ セキュリティ

- 内部脅威対策
セキュリティ事業

■ DX開発

- ThirdAI (サードアイ) を始めとするAI事業
- アプリケーション開発事業

ICT

■ システム設計・構築

- ICTシステムの設計・構築事業

■ システム運用

- ICTシステムの運用
- リモート運用サービス (Kyrios/キリオス)

ライフサイエンス

- 医療機器事業
- 化学分析機器事業
- ライフサイエンス分野のICT事業

その他 (海外)

- 海外事業
- グローバルIT人財マッチングサービス「Reinforce HR」

売上高構成比



ICT

売上高構成比 **54.0%**

■ システム運用

■ システム構築

デジタルイノベーション

売上高構成比 **25.6%**

■ 人財育成コンサルティング

■ セキュリティ

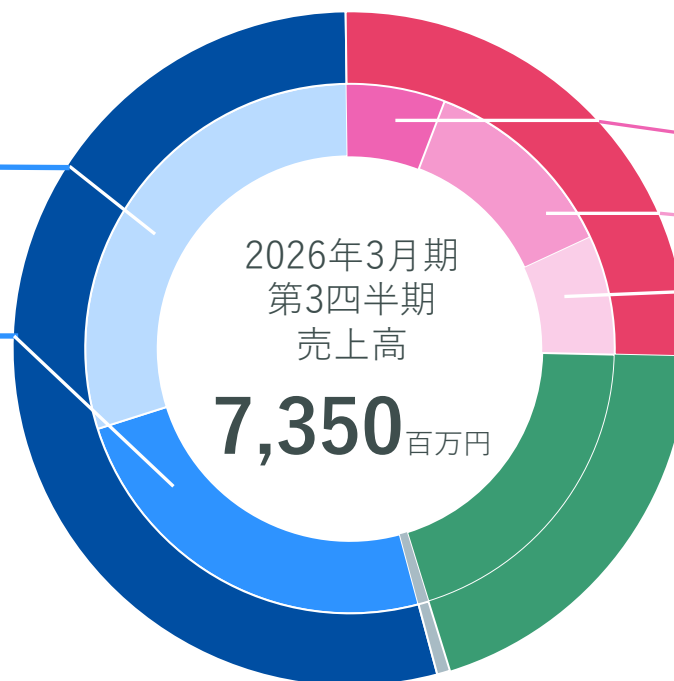
■ DX開発

ライフサイエンス

売上高構成比 **19.8%**

その他（海外）

売上高構成比 **0.6%**



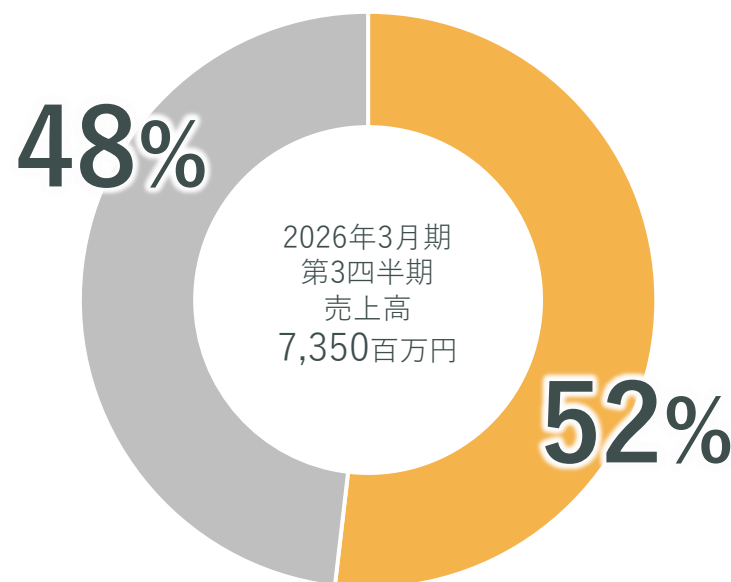
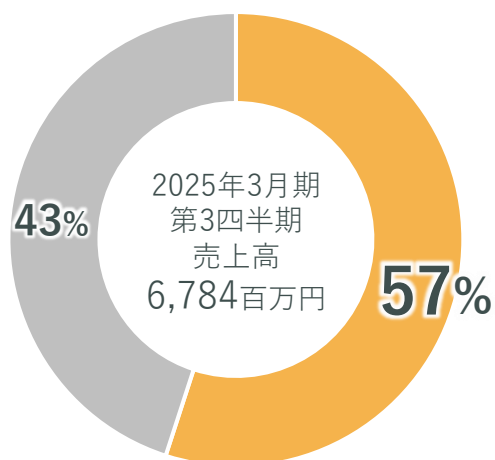
ストック型・フロー型ビジネス



システム構築・ライフサイエンスの事業拡大によりフローが増加

ビジネスモデル別構成比

- ストック
- フロー





Ⅱ. 2026年3月期 第3四半期 決算実績

2026年3月期 第3四半期 決算のポイント



幅広い業種でDX関連の投資が活況

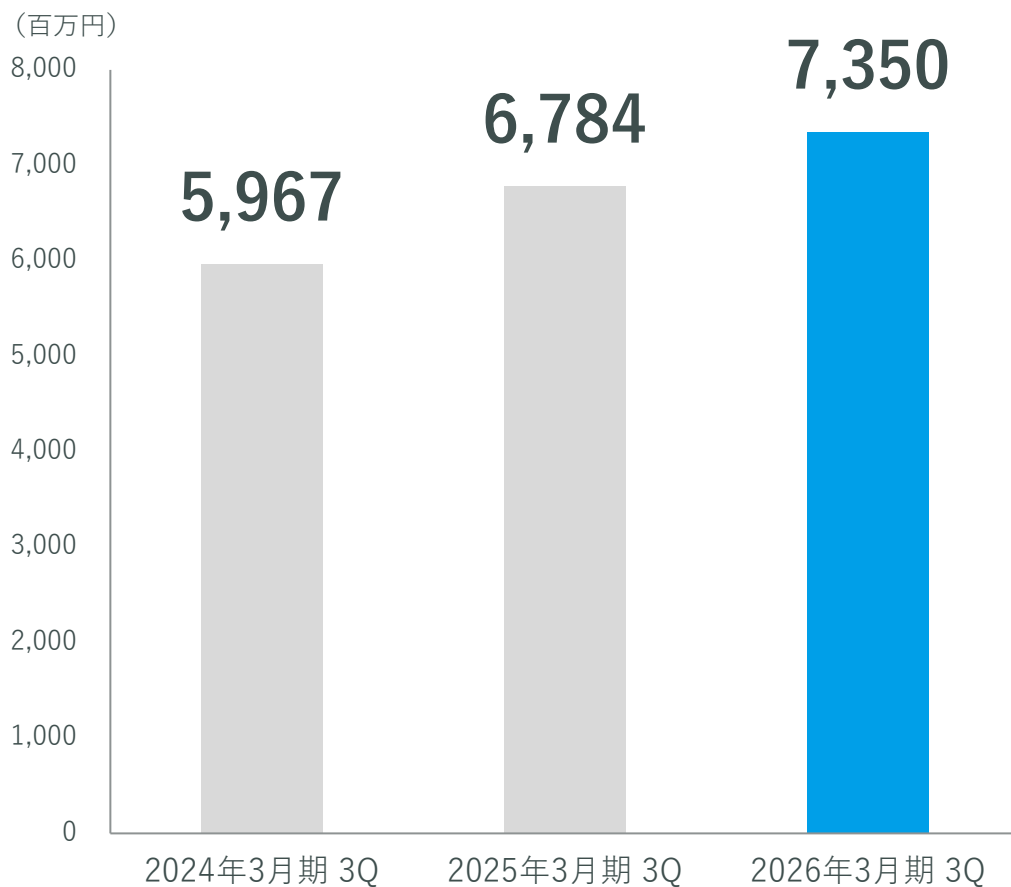


売上高は、ICTセグメント、デジタルイノベーションセグメントがけん引



営業利益は、ライフサイエンスセグメントがけん引

売上高



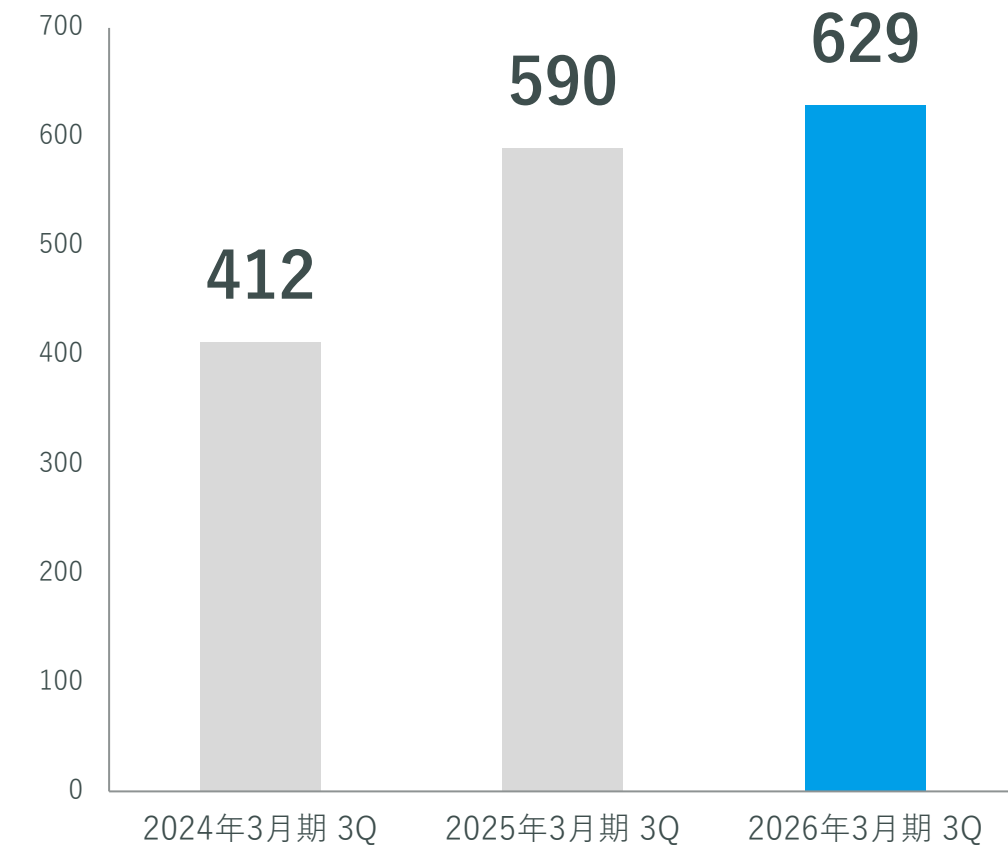
8.3%増収



営業利益



(百万円)

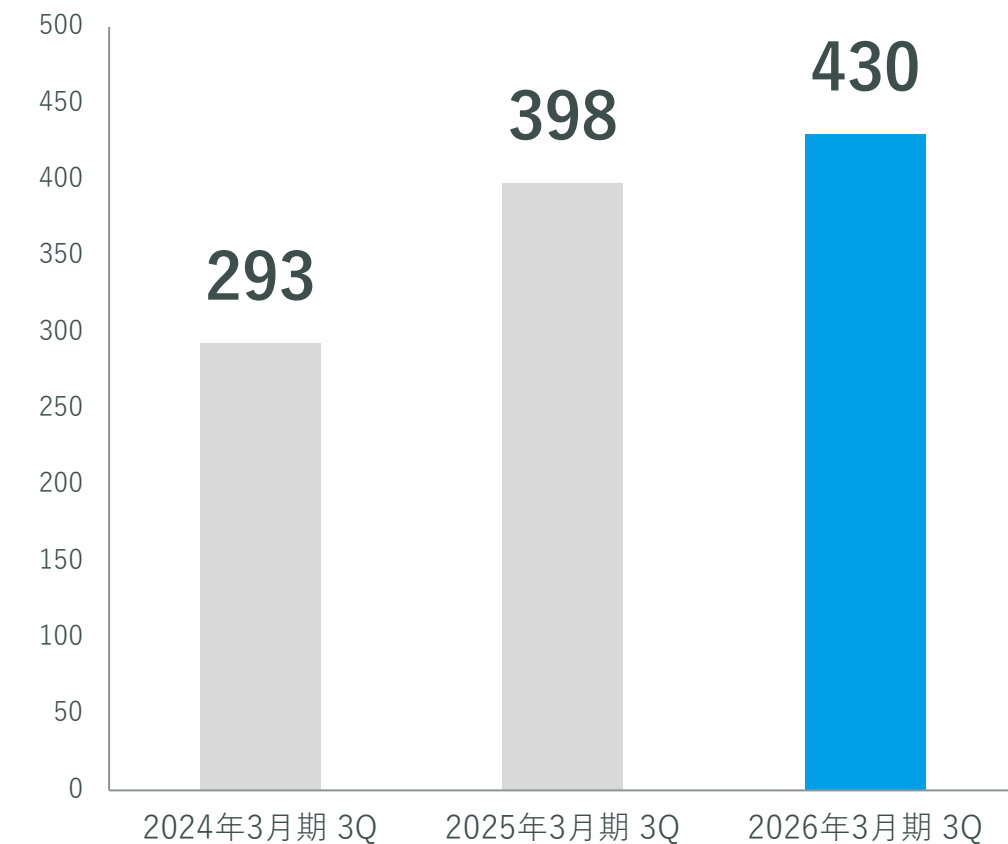


6.6%増益

四半期純利益



(百万円)



8.2%増益



2026年3月期 第3四半期 決算サマリー



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期			
	第3四半期	第3四半期		通期	
	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
売上高	6,784	7,350	+8.3%	9,632	76.3%
営業利益	590	629	+6.6%	830	75.8%
経常利益	598	640	+7.0%	830	77.1%
四半期純利益	398	430	+8.2%	600	71.7%

各事業セグメント売上高

		2025年3月期	2026年3月期			
(単位：百万円)		第3四半期	第3四半期		通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	433	442	+2.2%	562	78.8%
	セキュリティ	719	902	+25.4%	1,000	90.2%
	DX開発	540	534	△1.2%	826	64.7%
ICT	システム構築	1,437	1,783	+24.1%	2,148	83.0%
	システム運用	2,247	2,182	△2.9%	3,004	72.7%
ライフサイエンス		1,388	1,458	+5.0%	2,057	70.9%
その他		16	45	+177.3%	34	134.5%
合計		6,784	7,350	+8.3%	9,632	76.3%

各事業セグメント利益

		2025年3月期	2026年3月期			
(単位：百万円)		第3四半期	第3四半期		通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	実績	前年同期比 (%)	業績予想	進捗率 (%)
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	109	116	+6.6%	110	105.7%
	セキュリティ	35	23	△33.9%	65	36.5%
	DX開発	△2	△12	—	49	—
ICT	システム構築	369	370	+0.0%	655	56.5%
	システム運用	541	500	△7.5%	685	73.1%
ライフサイエンス		191	269	+40.6%	290	92.8%
その他		△6	0.7	—	△4	—
全社		△647	△638	—	△1,023	—
合計		590	629	+6.6%	830	75.8%

セグメント別業績推移



デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- Web試験配信プラットフォーム及びLearning Boosterの利用者が増加

セキュリティ

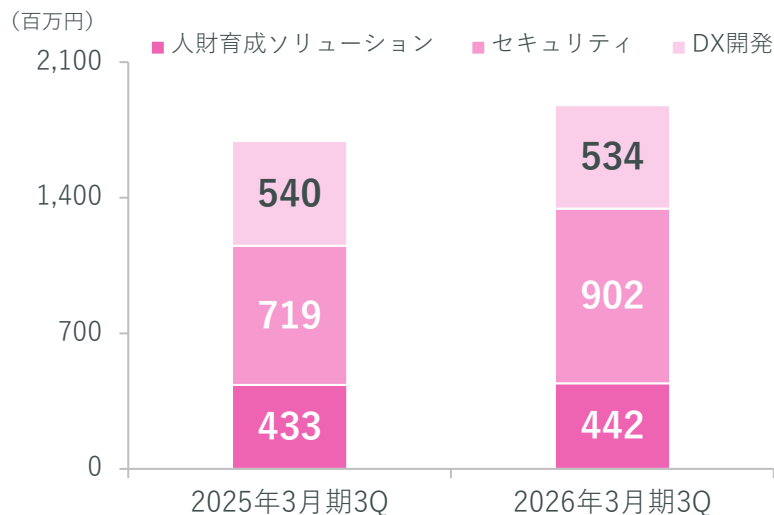
- 内部脅威対策ソリューションが順調に拡大。営業体制の強化により人件費増加

DX開発

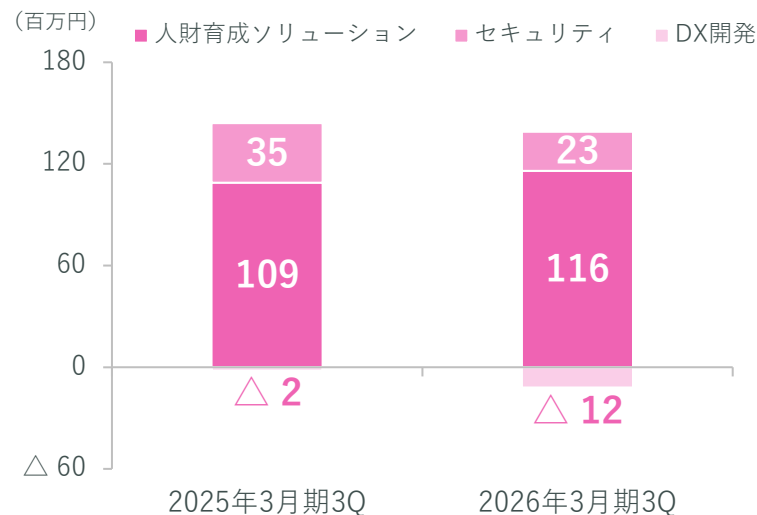
- 大型案件の一部失注や案件の後倒しにより減収、開発投資は継続

売上高

前年同期比 11.0%増収



セグメント利益



セグメント別業績推移



ICT

システム構築

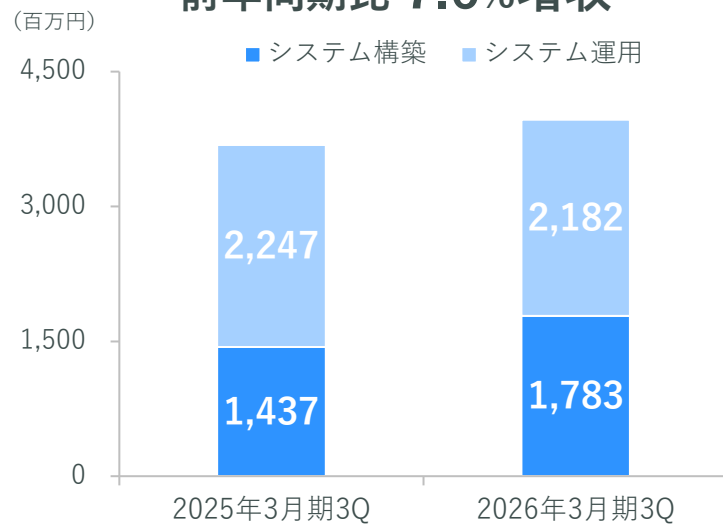
- 一部案件の入替え発生による利益率変動も、ガバメントクラウド関連をはじめとするスポット案件の受注により堅調に推移

システム運用

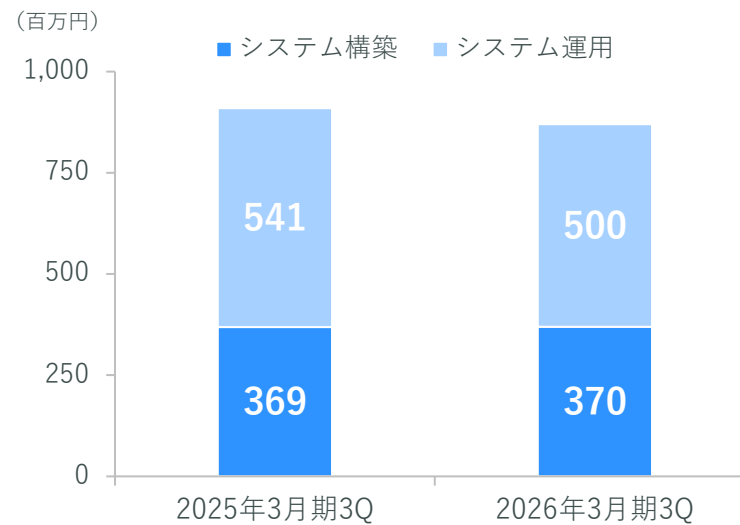
- クラウド運用サービスKyrios（キリオス）とテクニカルヘルプデスクが伸長も、従来型の常駐運用が減少し減収減益

売上高

前年同期比 7.6%増収



セグメント利益



セグメント別業績推移

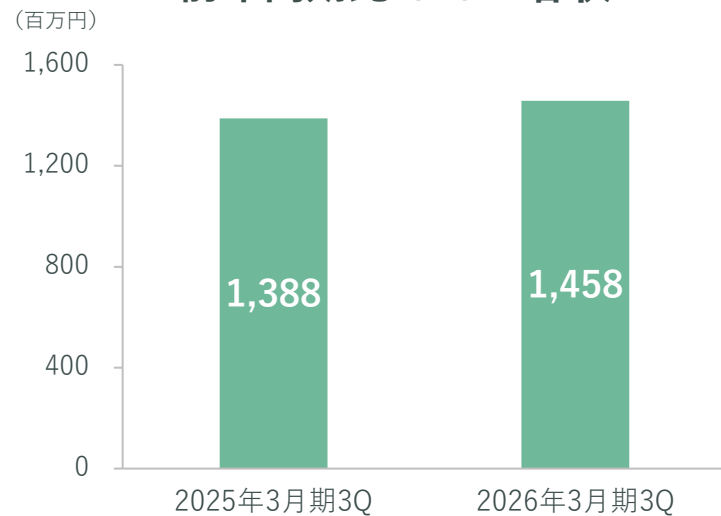


ライフサイエンス

- 医療機器の保守サービスとICTサービスが伸長
- 人員配置の最適化が奏功し、収益性が改善

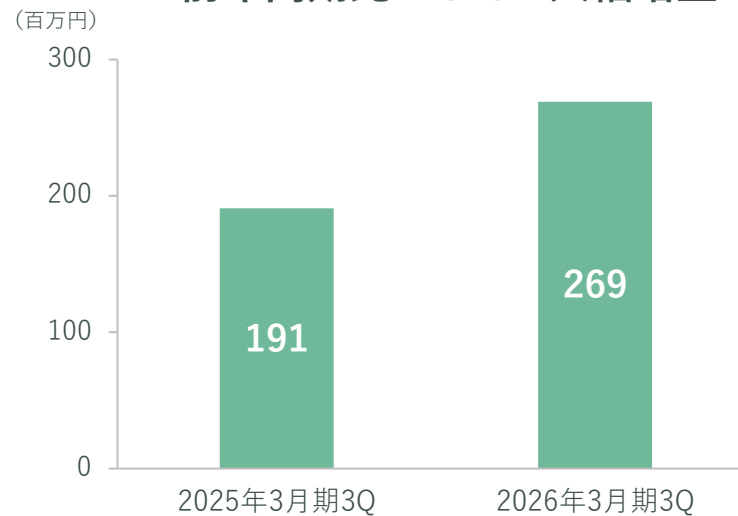
売上高

前年同期比 5.0%増収



セグメント利益

前年同期比 40.6%大幅増益



セグメント別業績推移

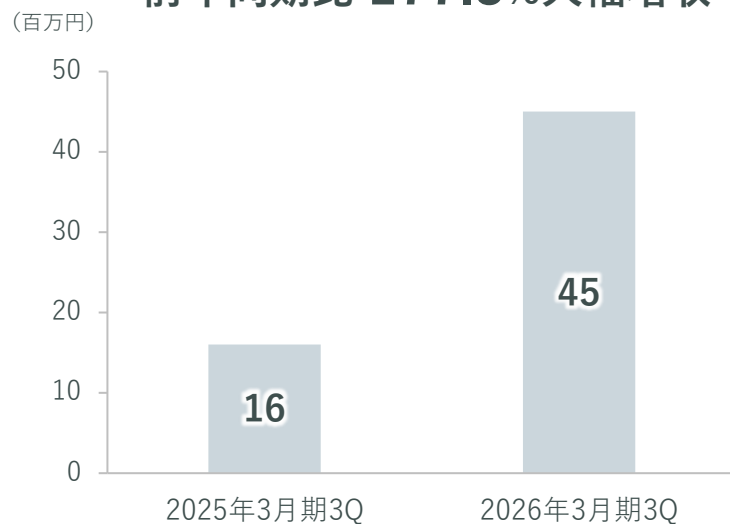


その他（海外事業）

- グローバルIT人財紹介サービス「Reinforce HR（レインフォースエイチアール）」が伸長し、黒字化を達成

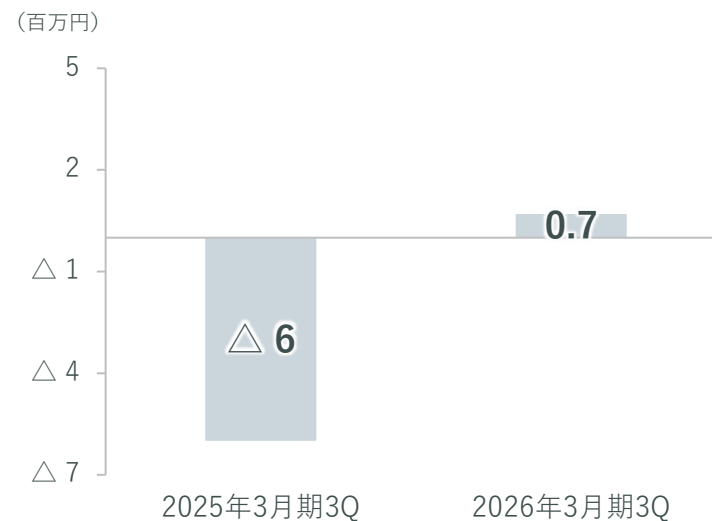
売上高

前年同期比 **177.3%**大幅増収

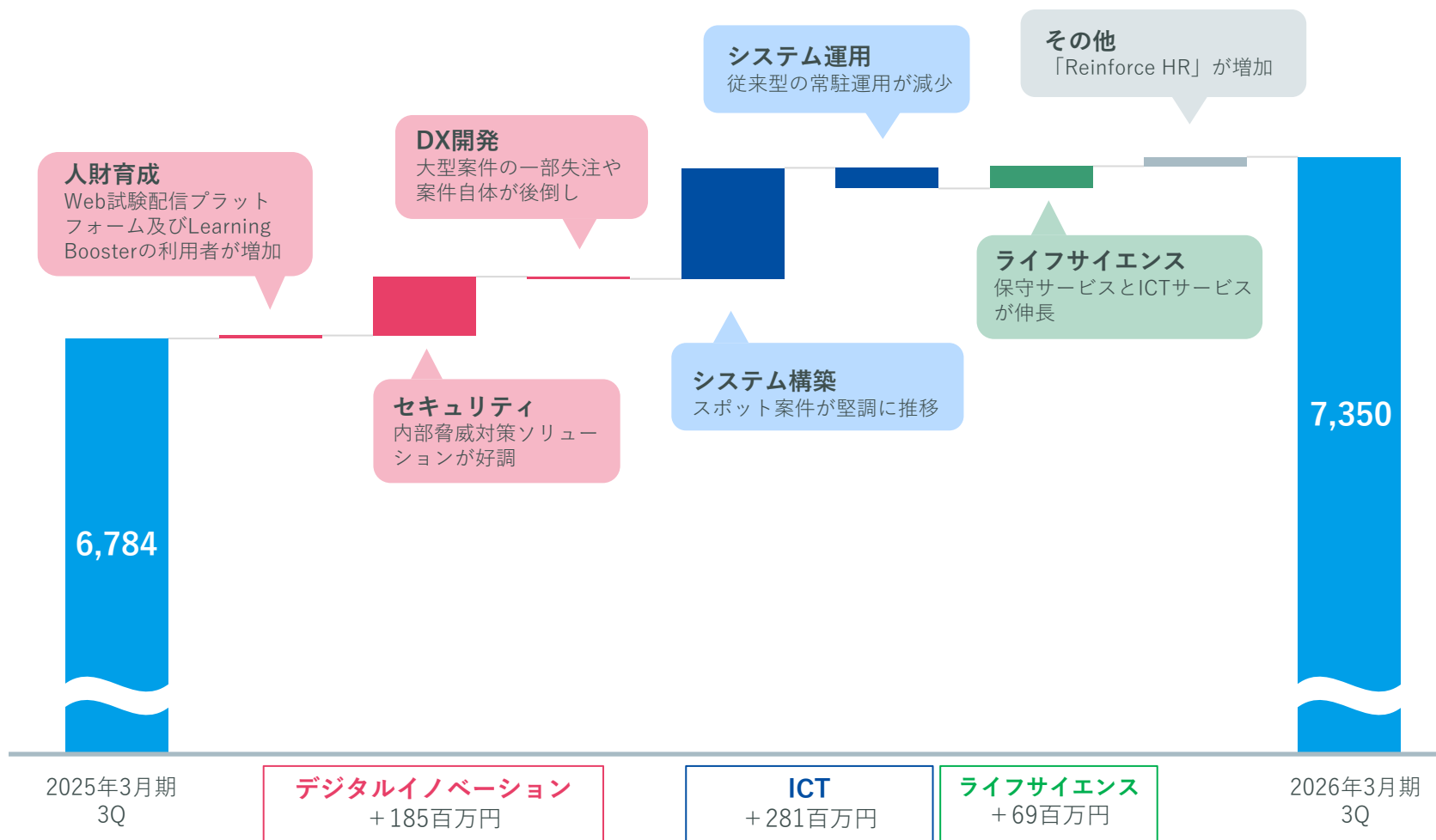


セグメント利益

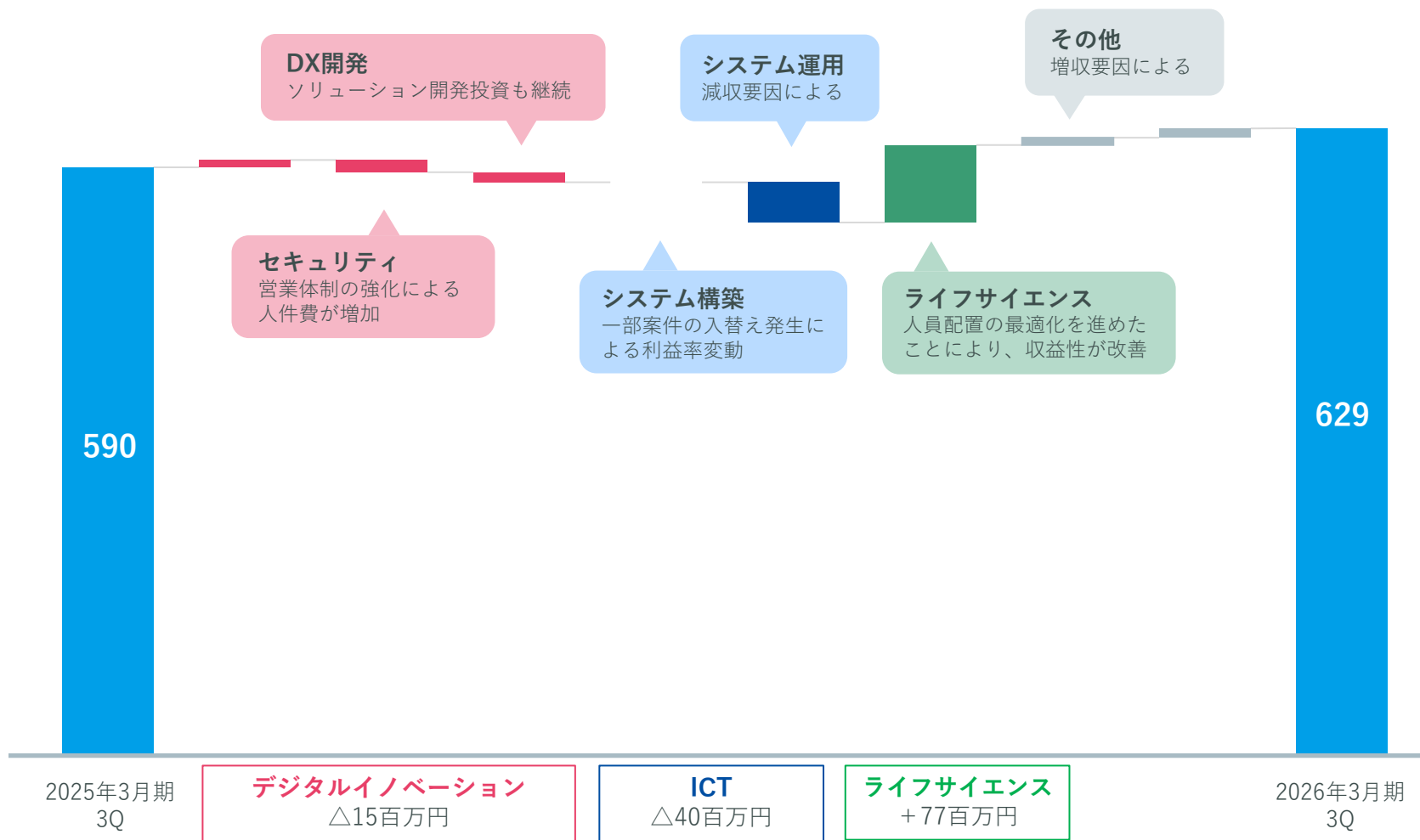
黒字転換



売上高（増減分析）



営業利益（増減分析）

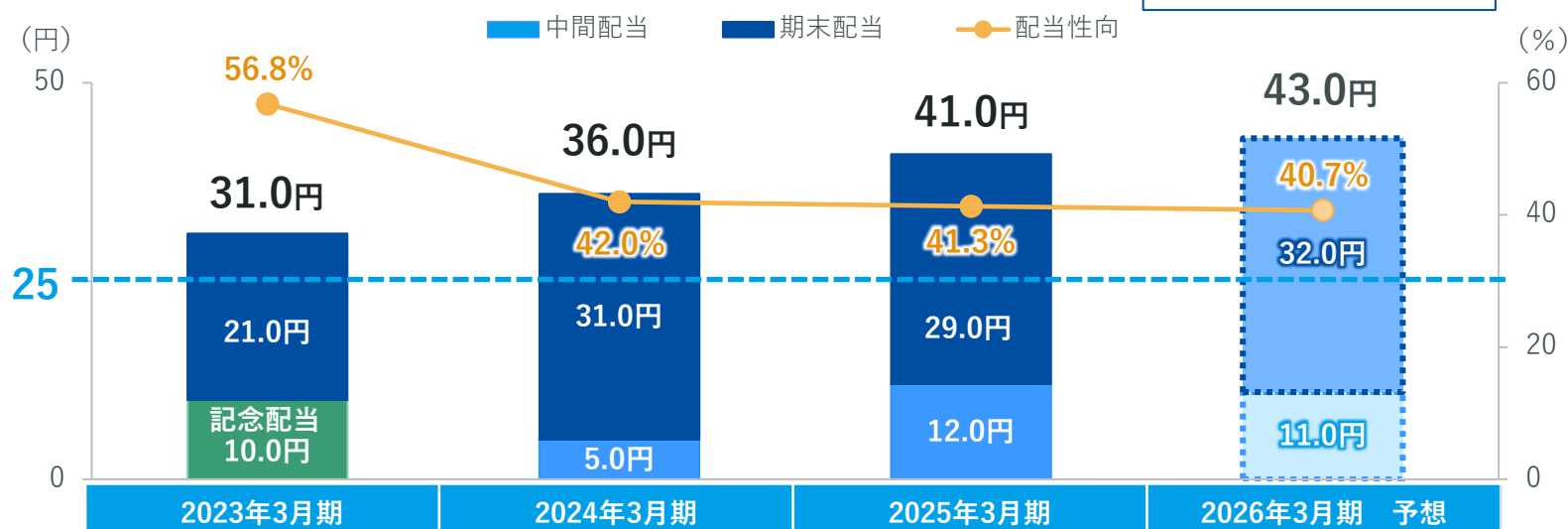


株主還元



- ✓ 高水準の配当を維持し、3期連続増配を実施
- ✓ 資本効率の向上および経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を実施

自己株式取得
 上限 5億円
 上限 35万株
 期間 2026年8月まで



配当金(年間)	31.0円	36.0円	41.0円	43.0円
(期末配当)	21.0円	31.0円	29.0円	32.0円
(中間配当)	(記念配当) 10.0円	5.0円	12.0円	11.0円
配当性向	56.8%	42.0%	41.3%	40.7%

2026年3月期 第3四半期 トピックス



介護DXを推進する排尿ケアソリューション「スマートおむつシステム」リリース

福祉用具情報システム（TAIS）に登録
～補助金を活用した申請対象製品としての導入が可能に～

福祉用具情報システム（TAIS）

(Technical Aids Information System)

国内の福祉用具製造事業者又は輸入事業者から、「企業」及び「福祉用具」情報を収集・分類・体系化しホームページから情報発信するシステム

登録

■ TAISコードを取得

- ・ 介護テクノロジー導入支援補助金の対象となる
- ・ 補助金を活用した申請対象製品としての導入が可能
- ・ 導入時の費用負担の軽減や補助金活用の促進が期待

先進的なIoT技術を活用した介護現場の業務効率化支援により、限られた人材での質の高いケアの実現、職員の離職抑制や人材確保にも寄与

介護業界の
課題解決に
貢献

スマートおむつシステム



- 排尿状況を自動で検知・記録し、尿量や排尿回数などのパターンを可視化
⇒ おむつ交換や排泄介助の適切なタイミングを判断
- 利用者の健康管理および介護者の負担軽減を実現

センサー

- ・ 専用の尿取りパッドに装着して使用するデバイス
- ・ 排尿状況を自動で検知・記録。
- ・ 情報をBluetoothやWi-Fiを介して専用の中継機からWebアプリに送信
⇒ リアルタイムでモニタリング・データ分析が可能

中継機

- ・ 専用の尿取りパッドに装着されたセンサーからのデータを、クラウド経由でWebアプリに転送
- ・ 複数のセンサーから転送されるデータを集約し、必要な情報を抜粋してWebアプリに送信

The background of the slide features a blue-tinted aerial view of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers. Overlaid on this are various semi-transparent digital graphics, including line charts, bar graphs, pie charts, and a world map, suggesting a focus on global business and technology.

Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.

IV. 参考資料



Ⅲ. 2026年3月期 業績予想（再掲）

今期は”AI Agent元年”

➡➡ AIが更に業務の自動化に利活用が進む時代に！



AIエージェントが利活用される現場

≫ あらゆる業界、業務でAI利活用されるが時代へ



弊社AIの取り組み

- ✓ AIドリブン企業への変革: AIによる”爆速”生産性向上
- ✓ AI知見をサービスに展開: AI 導入・定着サービスに着手
- ✓ BPO・コンサルティング企業との提携:
第1弾:Cognizant社との提携を実施 (5/13発表)



2026年3月期 全社施策の概要

- ✓ AI、データ、セキュリティ分野の
自社ソリューションサービスのリリースを加速
- ✓ グローバル人材の採用・コンサルタントの育成強化
- ✓ マーケティング強化
- ✓ 第3次中期経営計画の策定に着手



2026年3月期 決算予想サマリー

▶▶ 前期水準を維持し、自社ソリューションサービス拡販を目指す
営業・マーケティング組織と基盤強化への投資

(単位：百万円)	2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	
	実績	予想	前期比 (%)
売上高	9,211	9,632	104.6%
営業利益	820	830	101.2%
経常利益	828	830	100.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	562	600	106.6%

各事業セグメント売上高予想

(単位：百万円)		2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	予想	前期比（額）
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	573	562	△11
	セキュリティ	977	1,000	+22
	DX開発	686	826	+139
ICT	システム構築	2,059	2,148	+88
	システム運用	2,957	3,004	+46
ライフサイエンス		1,922	2,057	+135
その他		33	34	±0
合計		9,211	9,632	+421

各事業セグメント利益予想

(単位：百万円)		2025年3月期 通期	2026年3月期 通期	
事業セグメント	サブセグメント	実績	予想	前期比（額）
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	147	110	△37
	セキュリティ	43	65	+ 22
	DX開発	△10	49	+ 59
ICT	システム構築	528	655	+ 127
	システム運用	705	685	△20
ライフサイエンス		279	290	+11
その他		△4	△4	± 0
全社		△869	△1,023	△153
合計		820	830	+ 10



セグメント別業績推移予想

デジタルイノベーション

人財育成ソリューション

- Learning Boosterの販売強化

セキュリティ

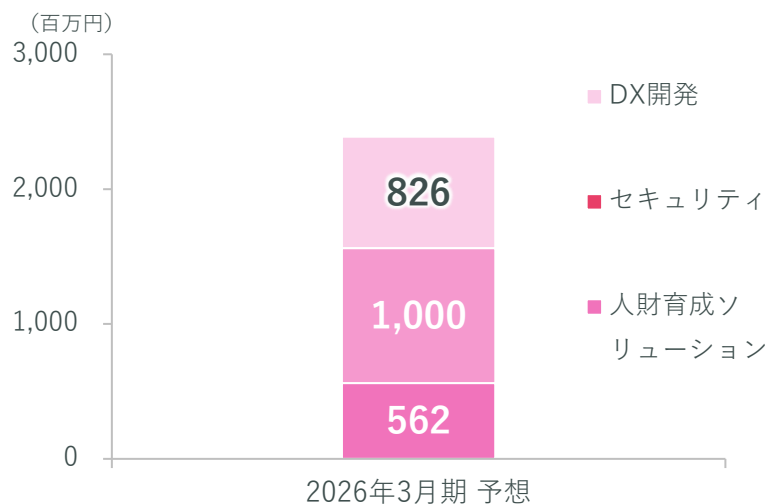
- 内部脅威対策ソリューション拡大

DX開発

- 生成AI関連の新規拡大と既存顧客の深耕

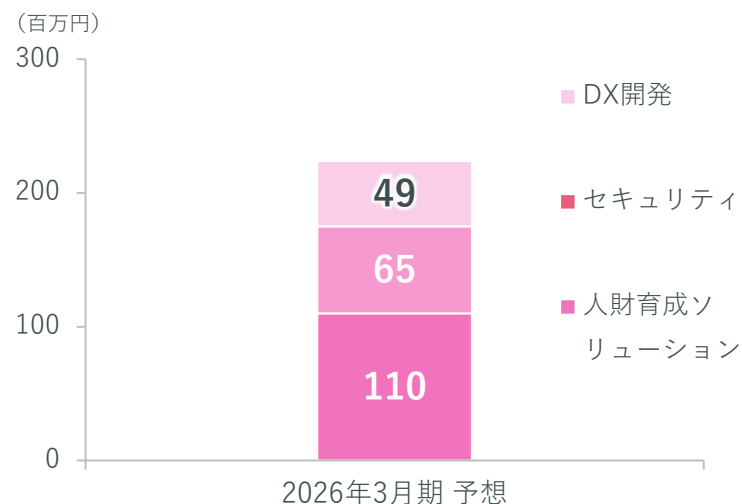
売上高

前期比6.7%増収



セグメント利益

前期比24.9%増益





セグメント別業績推移予想

ICT

システム構築

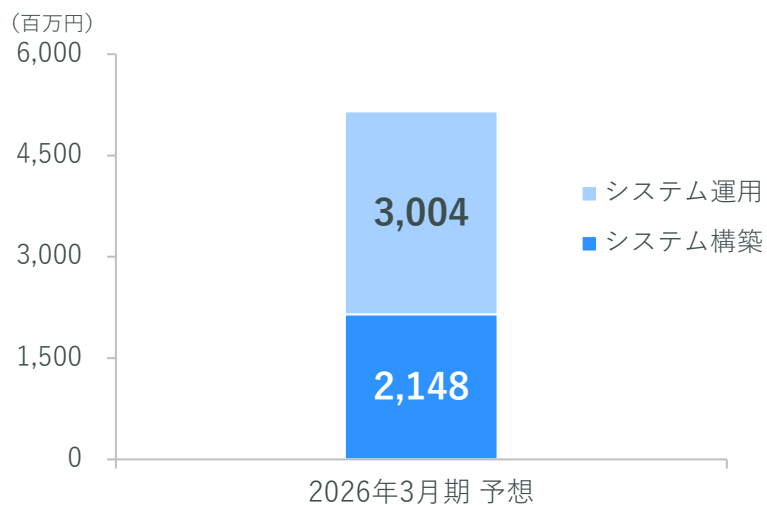
- ・ ガバメントクラウド拡大

システム運用

- ・ クラウド運用サービスKyrios（キリオス）拡大

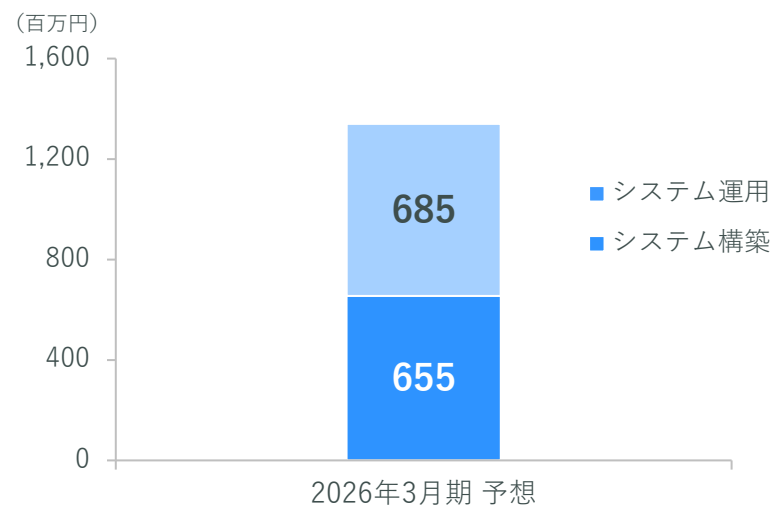
売上高

前期比2.7%増収



セグメント利益

前期比8.7%増益





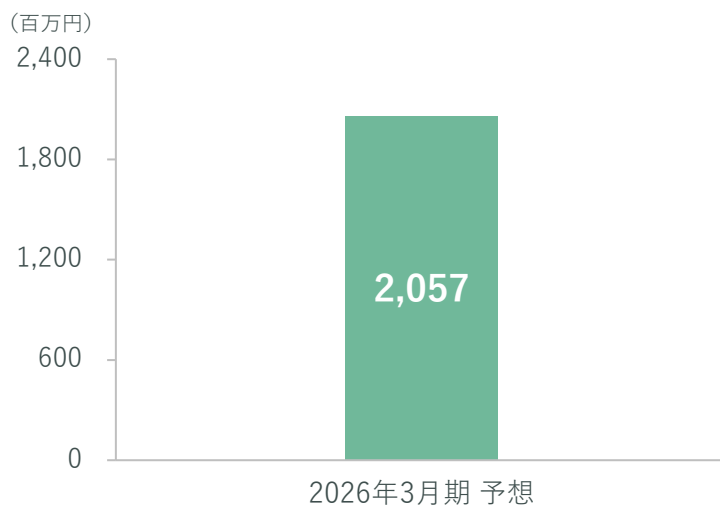
セグメント別業績推移予想

ライフサイエンス

- 病院・製薬企業向けのICTサービスの拡大
- 自社ソリューションサービス開発注力

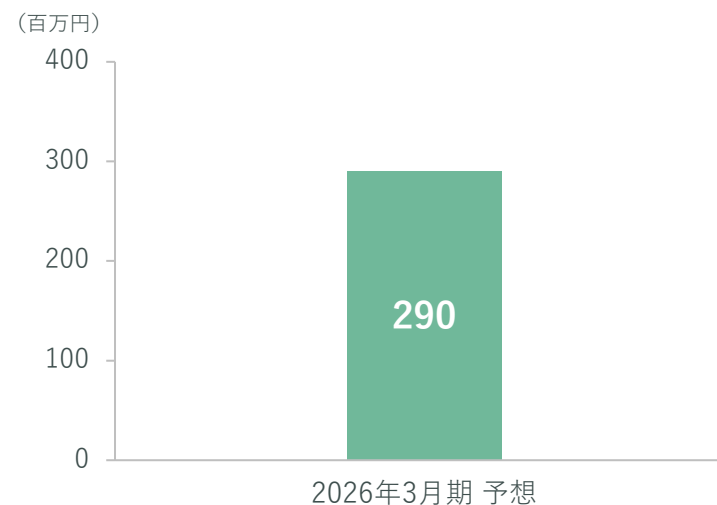
売上高

前期比7.0%増収



セグメント利益

前期比3.9%増益





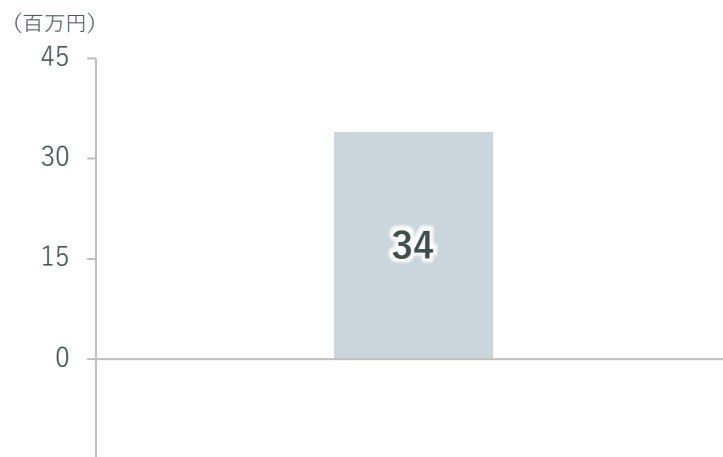
セグメント別業績推移予想

その他（海外事業）

- Reinforce HRの販売は継続
- インド支店のコストも前年並みを想定

売上高

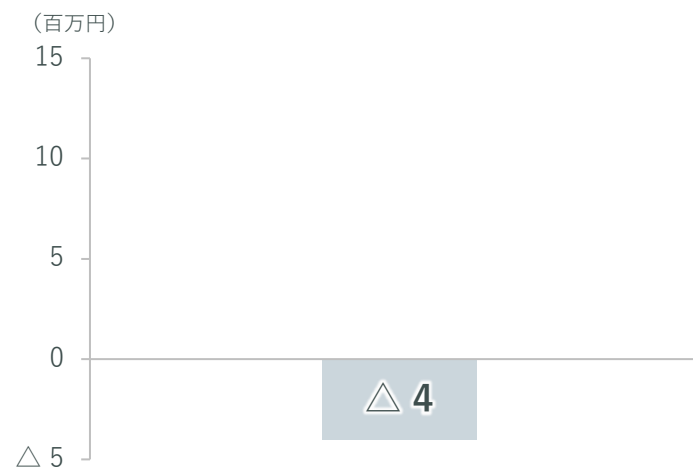
前年同期並み



2026年3月期 予想

セグメント利益

前年同期並み



2026年3月期 予想

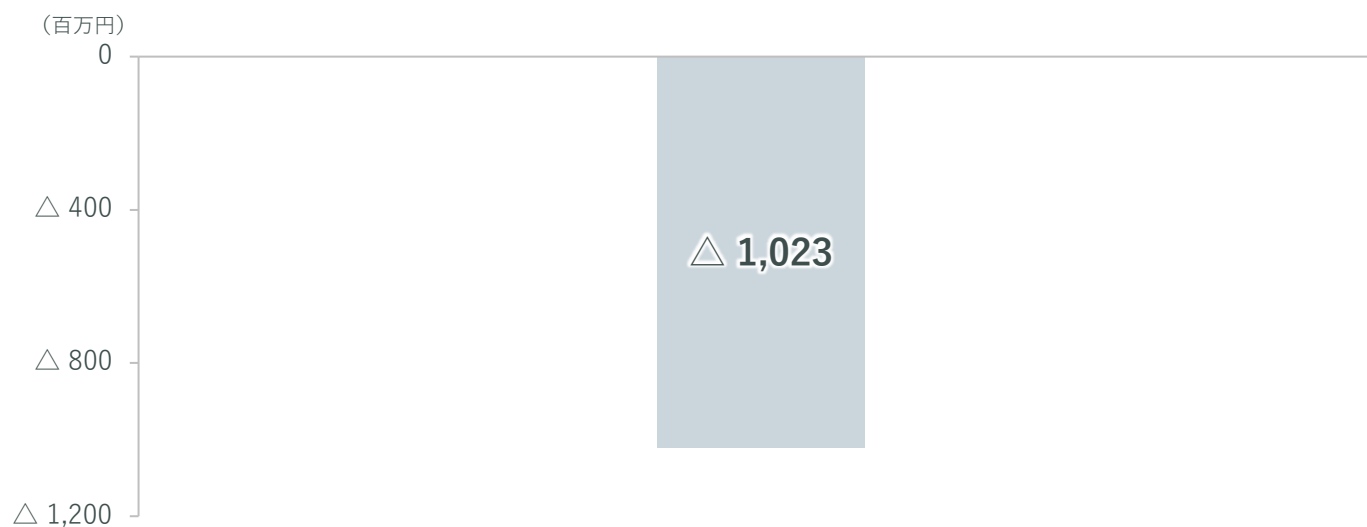


セグメント別業績推移予想

全社

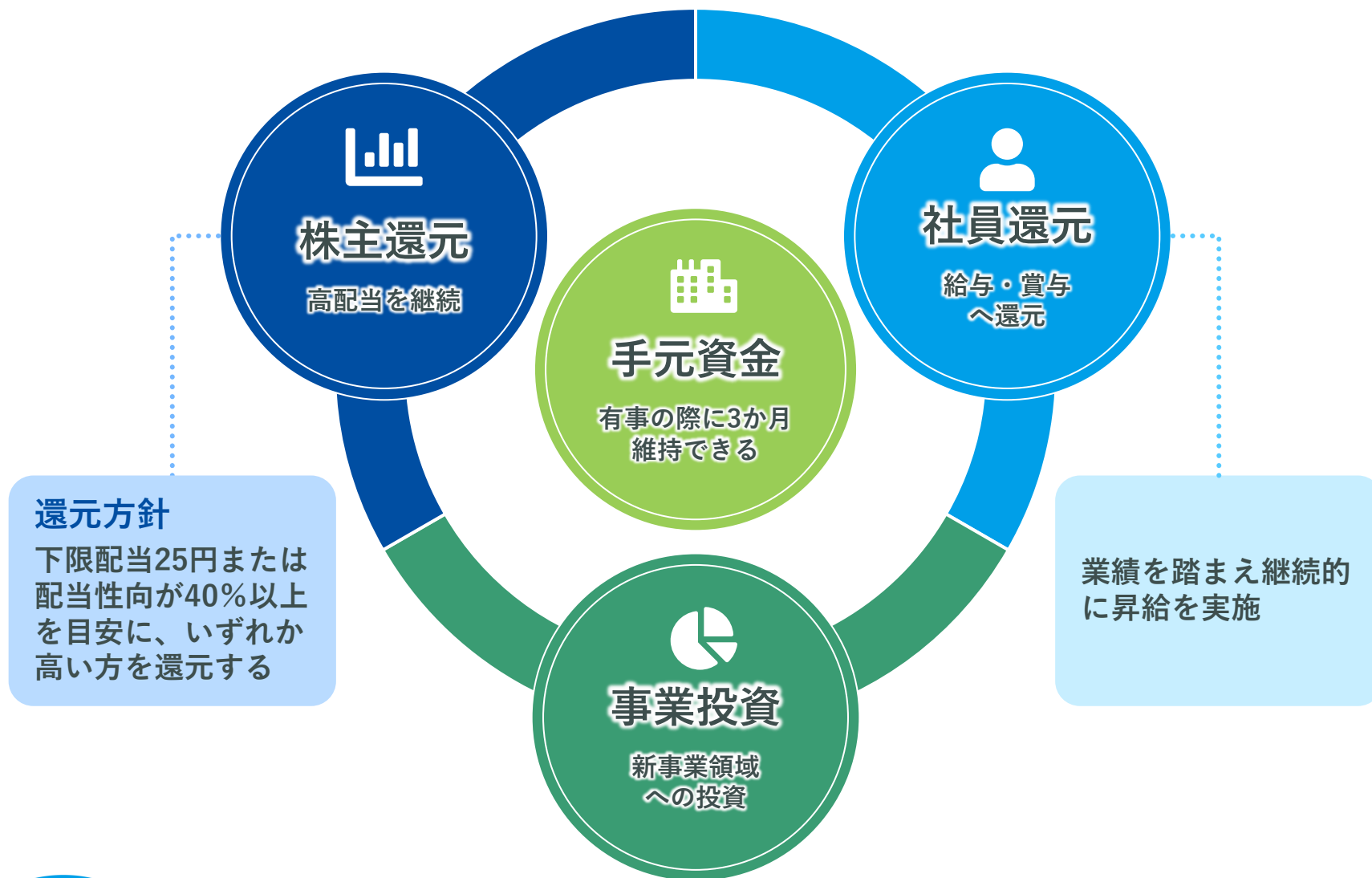
- 営業組織の強化
- 社員給与の更なる昇給を実施
- マーケティング強化

販管費が増加



2026年3月期 予想

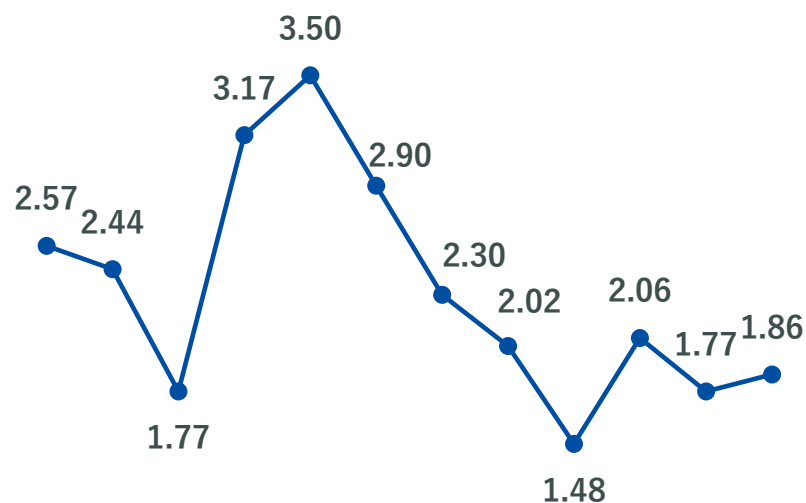
財務戦略（再掲）



企業価値向上にむけて（現状分析）

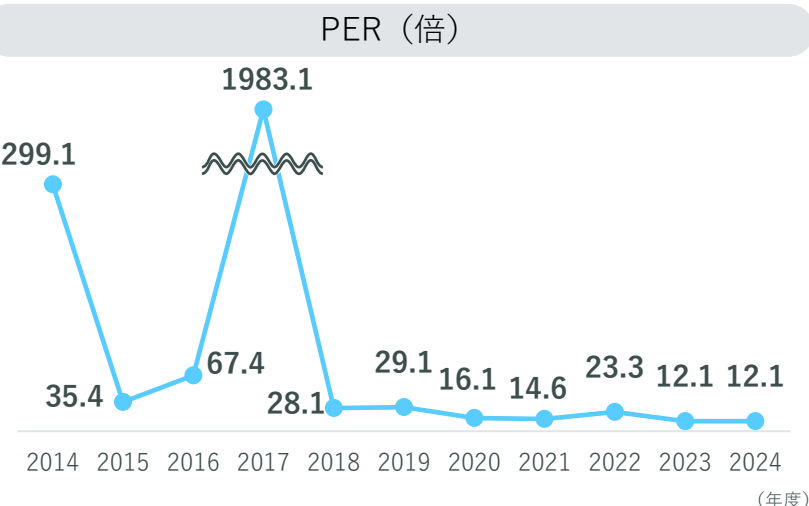
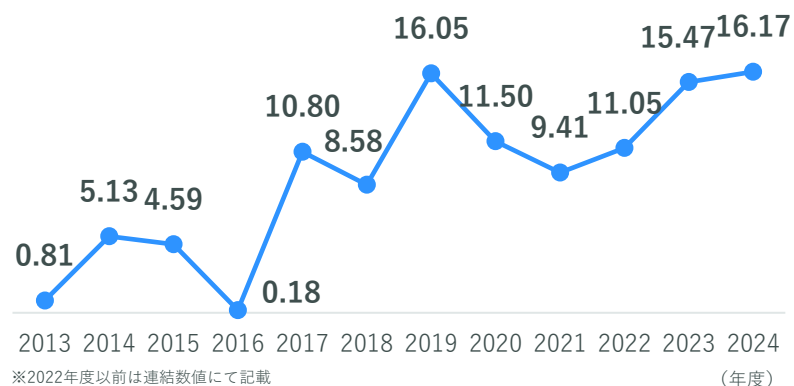


PBR（倍）



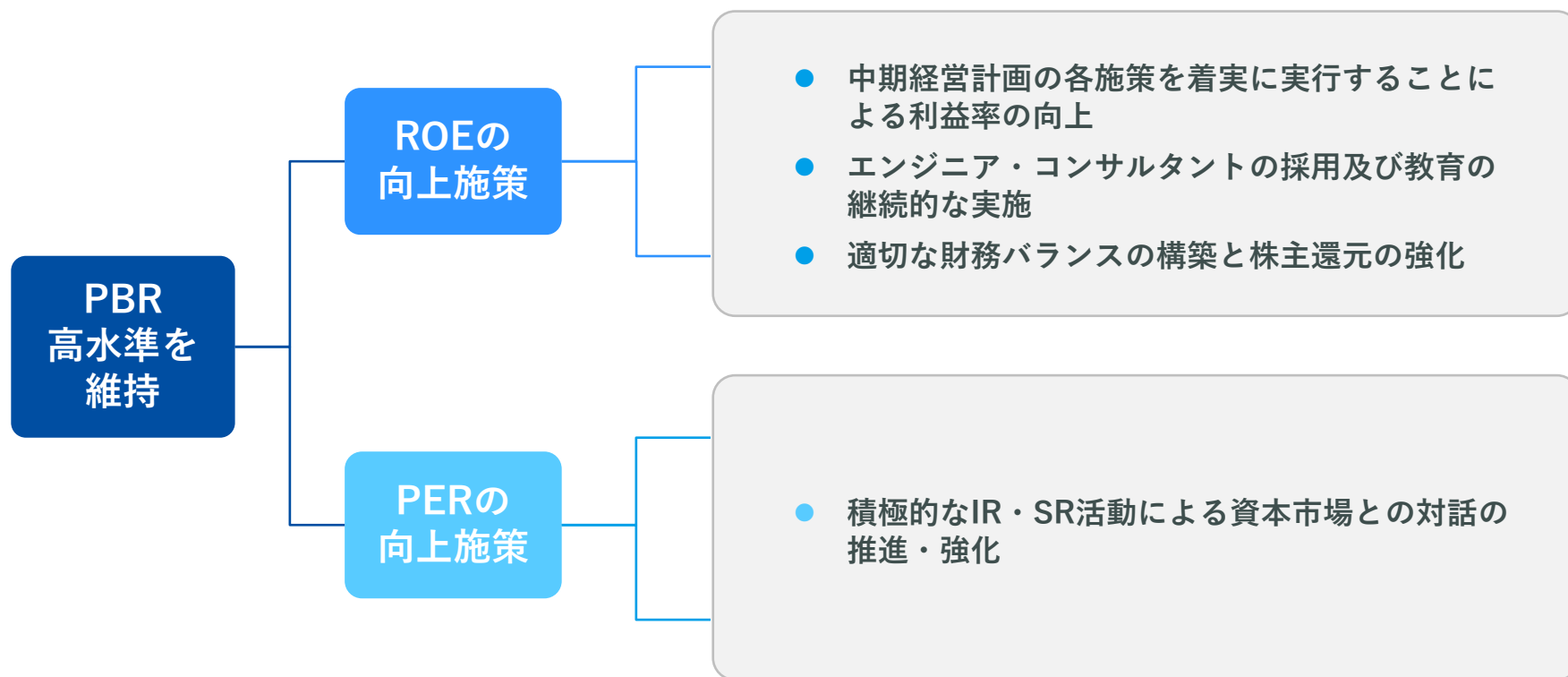
2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024
(年度)

ROE※（％）



2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024
(年度)

PBR1.0倍超の水準を維持



ストック型・フロー型ビジネス



セグメント別ビジネスモデルの売上状況

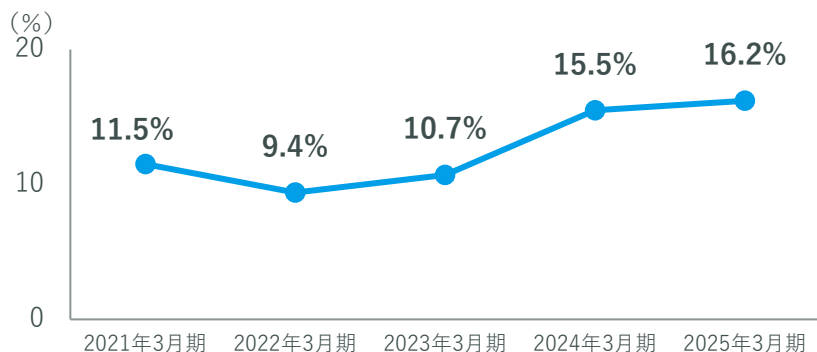
		2026年3月期3Q		ストックビジネスの定義
(単位：％)		売上構成比		
事業セグメント	サブセグメント	ストック	フロー	
デジタル イノベーション	人財育成 ソリューション	63%	37%	自社サービス（GAIT/Learning Booster）と一部アウトソーシング契約
	セキュリティ	100%	0%	内部脅威対策関連サービス
	DX開発	73%	27%	ThirdAI関連サービス
ICT	システム構築	0%	100%	一部期間固定契約
	システム運用	100%	0%	ICTシステムの常駐運用サービス、 Kyriosサービス
ライフサイエンス		2%	98%	医療ICTの一部直接契約
その他		100%	0%	グローバルIT人財紹介サービス 「Reinforce HR（レインフォースエイチ アール）」

過去5期指標推移



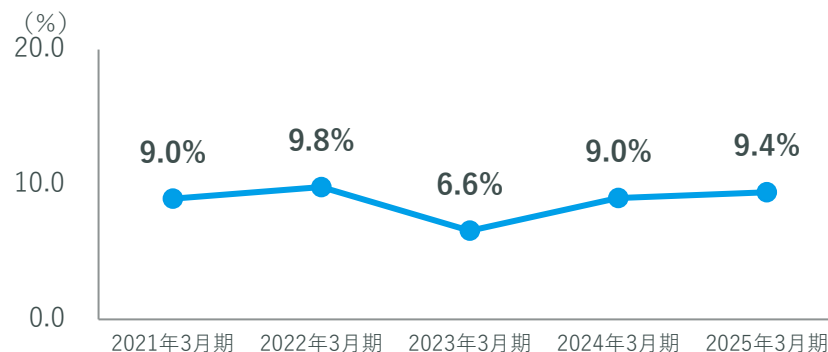
直近5期で、一定の自己資本比率を維持しながら、着実に利益を生む体質を構築。
今後もこの水準を維持していく方針

ROE（自己資本利益率）



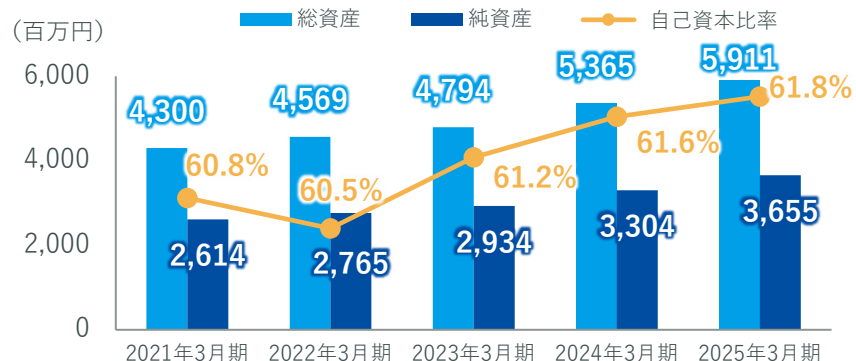
※出所：NIR提供データを弊社にて加工

ROA（総資産利益率）

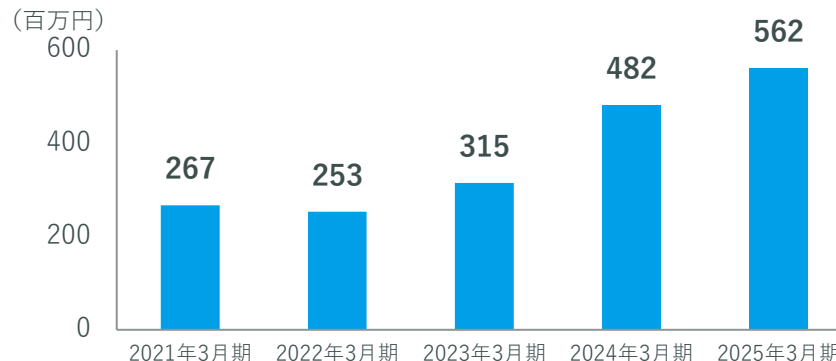


※出所：NIR提供データを弊社にて加工

総資産・純資産・自己資本比率 (%)



当期純利益



※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



会社概要



会社名	JTP株式会社 JTP Co.,Ltd.
本社	東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 14階
国内拠点	栃木、東京(本社)、大阪、福岡
海外拠点	インド支店
施設	トレーニングセンター ・ 御殿山トレーニングセンター (東京・品川) テクニカルラボセンター ・ 東京テクニカルラボセンター (東京・五反田)
資本金	795,475,000円
設立	1987年10月31日
従業員	462名(2025年3月31日現在)
上場市場	東京証券取引所スタンダード 証券コード：2488 (2006年6月上場)
認定パートナー	Amazon Web Services APN アドバンスドコンサルティングパートナー IBM Silver Business Partner Microsoft Cloud Platform Gold コンピテンシー SoftBank AI エコシステム・パートナー LINE 公式パートナー



沿革



1987年	10月	日本サード・パーティ株式会社 設立
1992年	4月	本社にトレーニングセンタを設置、教育事業に進出
1994年	7月	東京テクニカルセンタを設置（現：東京テクニカルラボセンタ）
1994年	11月	ライフサイエンス部門で化学分析機器サービス事業に進出
2003年	3月	ライフサイエンス部門で医療機器サービス事業に進出
2006年	6月	ジャスダック証券取引所に株式を上場
2011年	8月	ライフサイエンス部門で放射線事業（放射性物質測定機器の取り扱い）を開始
2012年	1月	放射能プレミアムドックセンタを開設
2012年	10月	世界標準のITスキルアセスメントテスト「GAIT」の提供を開始
2013年	6月	デジタルマーケティング事業に進出、「Wayin（ウェイイン）」の提供を開始
2014年	11月	グローバルIT人材育成支援の一環として、全国統一学生ICTテストにGAITの提供を開始
2015年	1月	ロボティクス事業に進出、ヒューマノイドロボット「NAO」に関するサービスを開始
2016年	11月	JTPインテグレーションセンタを開設
2017年	6月	AI事業に進出、「Third AI（サードアイ）」の提供を開始
2019年	4月	インド支店を開設し、インドでの事業展開を開始
2020年	5月	日商エレクトロニクス株式会社と資本業務提携を開始
2020年	12月	アースアイズ株式会社と資本業務提携を開始
2021年	4月	社名を「JTP株式会社」に変更



財務分析（B/S）



➡ 売上増加に伴い受取手形、売掛金及び契約資産と現預金が増加

（単位：百万円）

	2025年3月期3Q 実績	2026年3月期3Q 実績	前年同期比
現金及び預金	2,727	3,267	+539
受取手形、売掛金及び契約資産	1,573	1,671	+97
その他流動資産	227	315	+88
有形固定資産	98	98	0
無形固定資産	125	77	△48
投資その他の資産	533	507	△25
資産合計	5,286	5,938	+651
流動負債	1,053	1,257	+204
固定負債	742	789	+46
負債合計	1,795	2,047	+251
株主資本	3,490	3,891	+400
純資産合計	3,490	3,891	+400
負債・純資産合計	5,286	5,938	+651

財務データ推移



(単位：百万円)

	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3
売上高	4,661	4,743	4,634	4,748	5,472	6,245	6,310	7,040	7,381	8,119	9,211
売上原価・ 営業原価	3,902	3,918	3,731	3,746	4,408	4,998	5,197	5,818	6,046	6,584	7,342
売上総利益	759	824	902	1,001	1,063	1,246	1,112	1,221	1,335	1,534	1,868
販売費及び 一般管理費	582	587	707	749	824	775	761	785	870	903	1,048
営業利益	177	237	195	251	238	470	351	435	464	631	820
経常利益	191	234	136	258	247	483	382	470	476	665	828
当期純利益	90	81	3	184	154	309	267	253	315	482	562

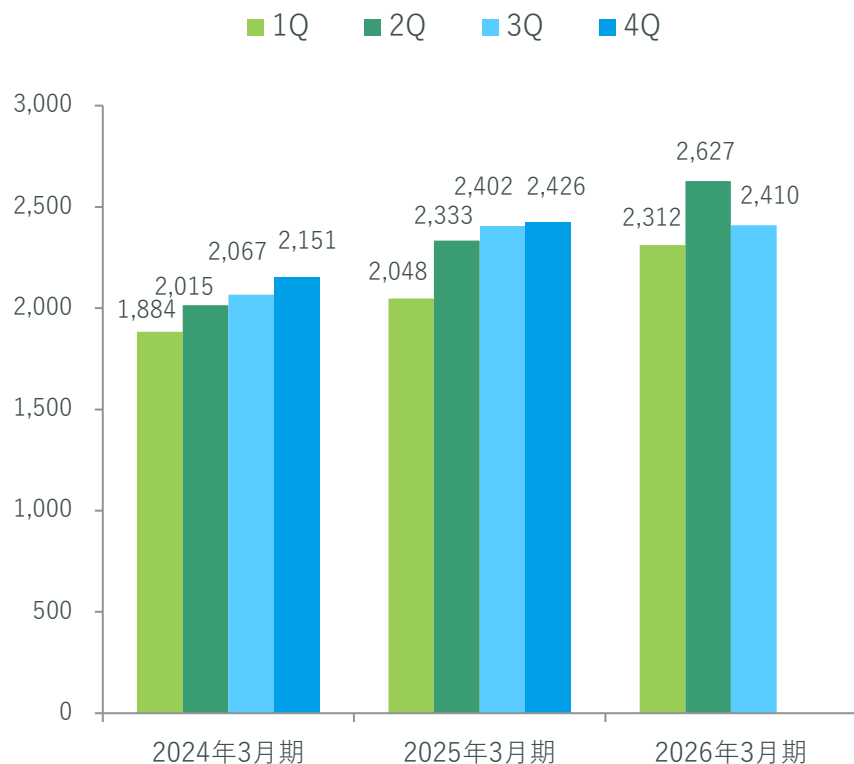
※当社は2024年3月期より単体財務諸表となっておりますので、参考比較となります



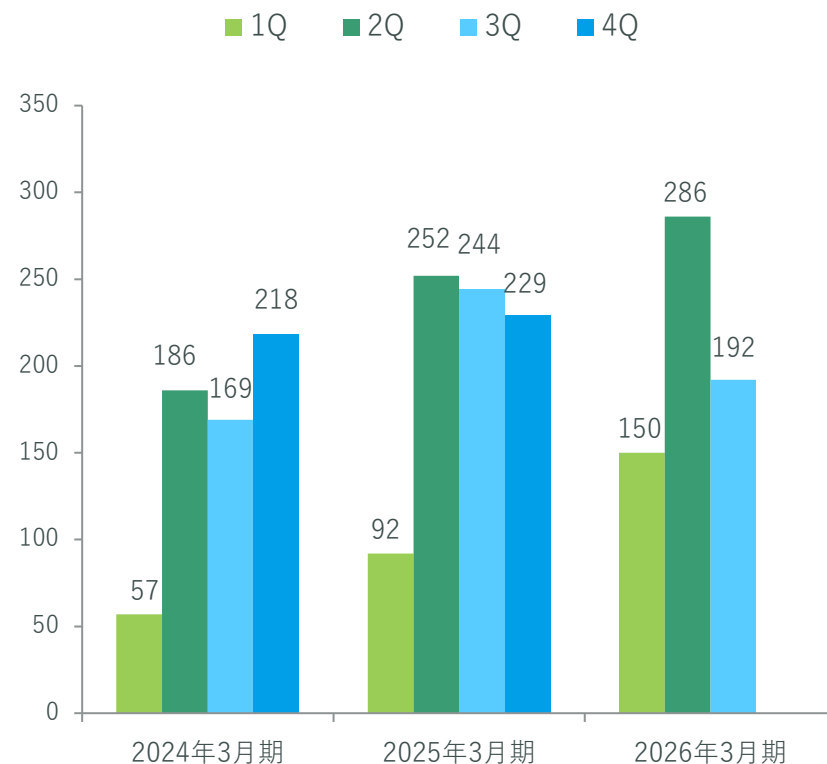
四半期別売上高・営業利益推移



売上高



営業利益



The background of the slide features a blue-tinted aerial view of a city skyline, likely Tokyo, with numerous skyscrapers. Overlaid on this image are various semi-transparent digital graphics, including line charts, bar graphs, pie charts, and a world map, suggesting a focus on global business and technology.

Connect to the Future

JTP 株式会社

この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります



© JTP Co., Ltd. All Rights Reserved.